

**星空をアソビ尽くせ。**  
**フリースタイル天望ツール“AP” 第二弾**  
**“AP”シリーズモジュール・ユニット 12 種類、今春発売**

株式会社ビクセンは、さまざまなスタイルで星空を楽しむ「フリースタイル天望ツール“AP”」の第二弾として、モジュール・ユニット 12 種類とそれに伴うセット品を発売いたします。既に発表されているモジュール・ユニットと今回発表されたモジュール・ユニットを組み合わせることで、新たに経緯台やポータブル赤道儀などのシステムを組み立てることが可能となりました。



“AP”シリーズの特徴は、モジュール・ユニット化を最大限に推し進めた点です。ユーザーは、システムを構成する各モジュール・ユニットを様々な組み合わせることで、自身のスタイルに合わせて“AP”を変化させることができます。

たとえば、ベーシックな手動式赤道儀「APマウント」の「手動モジュール」を「赤経モーターモジュールSBOセット」に置き換えることで、自動追尾赤道儀「AP-SMマウント」に変化します。また、「AP-SMマウント」の赤緯体を外し、「PG筒受セット」、「極軸望遠鏡PF-L」、「APクランプ」を装着することで、機動性と安定性を併せ持ったカメラ用赤道儀「APフォトガイダー」に変化させることもできます。さらに小型化したい場合は「赤経モーターモジュールSBOセット」と「APポータブルセット」の組み合わせで、広角～中望遠レンズでの撮影に特化した「AP星空雲台」とすることも可能です。そのほかセッティングに時間をかけることなく手軽に星を楽しみたいという場合は、「APマウント」の「AP極軸体ユニット」と「APウェイト軸」を、それぞれ「AP三脚ベース」と「AZカウンターウェイト」に置き換えることで、経緯台仕様の「APZマウント」として使用することが可能です。

“AP”システムは、今後もますます発展していきます。ユーザーが組み合わせを工夫することで、自分だけの“AP”をつくりだす楽しみを提供します。

## モジュール／ユニット紹介

### ●AP 赤緯体ユニット

AP 赤道儀の赤緯体、AP 経緯台の高度軸を支える骨格となるパーツ。「手動モジュール」、「赤緯モーターモジュール」、「AP ウェイト軸」「AZ カウンターウェイト」を取付けできます。電池ボックスを内蔵しており、「赤緯モーターモジュール」と接続した際の電源としても機能します。



### ●AP ウェイト軸(飾り環付)

12月に発売済みの「AP マウント」、及び「AP-SM マウント」に付属しているウェイト軸。赤緯体にねじ込んだ上で「バランスウェイト WT」を装着し、鏡筒とのバランスを合わせるために使用します。「APZ マウント」でも使用できます。



### ●AP 極軸ホルダー

“AP”をポータブル赤道儀としてカメラ三脚に搭載するために必要なパーツ。システム全体をコンパクトにしたいときに有効です。「ポラメーター」、「極軸望遠鏡 PF-L」取付け可能。



### ●プレートホルダーベース

「手動モジュール」(または「赤緯モーターモジュール」)と「AP 筒受ユニット」もしくは「AP 極軸ホルダー」、「タイムラプスアダプター」を接続するためのアダプター。



### ●AP クランプ筒受ユニット H

「スライド雲台プレート」や「アタッチメントプレート」を取付ける筒受。フリーストップにより、鏡筒などを手で持って直感的に動かすことが可能です。より確実な固定が可能になる「AP クランプ」が付属しており、ユーザーが好みにより取付ける仕様になっています。「AP クランプ筒受ユニット」とは互換性があり、極軸望遠鏡を使用するときのために、穴が開いているものが「AP クランプ筒受ユニット H」となっています。なお「AP フォトガイダー」には使用できません。



### ●スライド雲台プレート

「AP クランプ筒受ユニット」などビクセン規格(幅 44mm)プレートホルダー(筒受)に装着、カメラ(雲台)などを取り付けられるスライドバー。主に「AP フォトガイダー」や「AP 星空雲台」で使用します。プレートをスライドさせて極軸周りのバランスをとることができます。極軸望遠鏡の視野を確保するための長穴が開いています。



### ●モジュールベース

「スライド雲台プレート」に「手動モジュール」などを取付けるためのアダプターです。



### ●AP 筒受ユニット

12月に発売済みの「AP フォトガイド」に組み込まれているプレートホルダー。「スライド雲台プレート」を取付ける際に用います。「AP フォトガイド」として使用される場合は、「AP クランプ筒受ユニット H」ではなくこちらを使用します。



### ●AP フォトガイド用ウエイト軸

「AP フォトガイド」では極軸の先端に「スライド雲台プレート」を取付け、「スライド雲台プレート」の一端にカメラ(雲台)を搭載して撮影を行います。この際、カメラとは反対側に「AP フォトガイド用ウエイト軸」と「バランスウエイト WT」を取付け、カメラとのバランスを取ることで、より安定した天体追尾が可能となります。重量のあるカメラの場合に特に有効です。



### ●APZ マウント

“AP”の経緯台仕様。「AP マウント」の「AP 極軸体ユニット」の代わりに「AP 三脚ベース」(後述)をセットにし、「AZ カウンターウエイト」(後述)としてウエイト軸をコンパクトにしたもので、天体望遠鏡の鏡筒を縦横に動かす経緯台として使用できます。両軸とも扱いやすいフリーストップ式(注1)で、微動ハンドルを装備しています。8kg までの鏡筒を搭載して観測が可能です。



注1 フリーストップ式：鏡筒を手で持って自由に動かすことができ、手を離せばその位置で静かに止まる形式。

### ●AP 三脚ベース

“AP”シリーズを経緯台として使用する際に、「APP-TL130 三脚」と接続するためのパーツ。

※「APZ マウント」には付属。



### ●AZ カウンターウエイト

「APZ マウント」に使用するカウンターウエイト。ウエイト軸の飛び出しをなくし、コンパクトでスタイリッシュなデザインを実現しています。経緯台の動作を安定させ、転倒防止になる効果があります。

※「APZ マウント」には付属。



## セット品の紹介

### ●AP ポータブルセット

「スライド雲台プレート」、「AP クランプ筒受ユニット H」、「プレートホルダーベース」、「AP 極軸ホルダー」のセット品。2014年12月に発売済みの「赤経モーターモジュール SBO セット」と併用することで、「AP 星空雲台」として使用できます。



●APZ-A80Mf

「APZ マウント」と A80Mf(口径 80mm の屈折式鏡筒)のセット品。



●APZ-R130Sf

「APZ マウント」と R130Sf(口径 130mm の反射式鏡筒)のセット品。

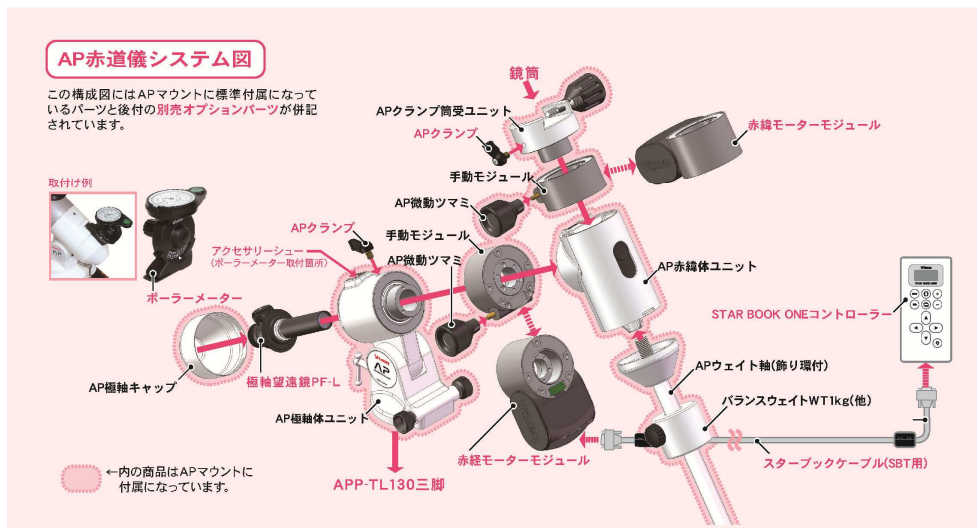


**新製品モジュール/ユニット 組み合わせ例**

※今回発表の新製品と、発売済みのモジュール・ユニットを組み合わせることで、多様なシステムを組み立てることができます。下記でご紹介するのはあくまで組み合わせの一例です。

**<じっくり天体観望したい方・鏡筒を搭載して撮影をしたい方に/赤道儀として>**

経緯台に比べて天体の追尾が容易な赤道儀は、長時間の観望や大勢での観望に最適です。特に長時間露光の多い天体写真撮影では必須といえます。モジュール・ユニットをあらかじめ組み合わせた、両軸手動の「AP マウント」や一軸モーター仕様の「AP-SM マウント」もご用意しています。



AP 赤道儀システム図



<製品の仕様>

◆AP 赤緯体ユニット

¥15,000 (税別)

サイズ：124.5×81×78mm (除・突起部)

重さ：490g(電池別)

◆AP ウェイト軸 (飾り環付)

¥5,000 (税別)

サイズ：φ78×328mm ウェイト軸有効長 269mm

重さ：820g

◆AP 極軸ホルダー

¥9,000(税別)

サイズ：114.5×78×77mm

重さ：230g

◆プレートホルダーベース

¥3,500 (税別)

サイズ：φ78×21mm

重さ：90g

◆AP クランプ筒受ユニット H

¥11,000 (税別)

サイズ：φ78×56mm (除・突起部)

重さ：345g

※AP クランプ付

◆スライド雲台プレート

¥8,000 (税別)

サイズ：182×44×20mm (除・突起部)

重さ：200g

◆モジュールベース

¥5,000 (税別)

サイズ：φ78×12mm

重さ：142g

◆AP 筒受ユニット

¥3,500 (税別)

サイズ：φ78×31mm (除・突起部)

重さ：200g

◆AP フォトガイダー用ウェイト軸

¥4,200 (税別)

サイズ：φ23×135mm (除・突起部)

ウェイト軸有効長 130mm

重さ：330g

◆AP ポータブルセット

¥30,000 (税別)

・スライド雲台プレート

サイズ：182×44×20mm (除・突起部)

重さ：200g

・プレートホルダーベース

サイズ：φ78×21mm

重さ：90g

・AP クランプ筒受ユニット H

サイズ：φ78×56mm (除・突起部)

重さ：345g

※AP クランプ付

・AP 極軸ホルダー

サイズ：114.5×78×77mm

重さ：230g

◆APZ マウント

¥ 65,000 (税別)

サイズ : 178×258×104mm (除・突起部)

重さ : 3.8kg (AZ カウンターウエイトを含む)

付属品 : カラー星空ガイドブック、星座早見盤

オプション(別売) : 赤経モーターモジュール SBO セット、赤緯モーターモジュール、  
APP-TL130 三脚、スライド雲台プレート

◆AP 三脚ベース

¥ 10,000 (税別)

サイズ : φ104×58mm (除・突起部)

重さ : 560g

◆AZ カウンターウエイト

¥ 4,000 (税別)

サイズ : φ78×60mm(除・突起部)

重さ : 1.65kg

◆APZ-A80Mf

¥108,000 (税別)

サイズ : (鏡筒部) 長さ 860mm、外径 90mm

(三脚) 長さ 570⇔1296mm、高さ(地上高)526⇔1159mm、縮長 598.4mm

設置半径 350⇔710 mm

重さ : 10.1kg

付属品 : カラー星空ガイドブック、星座早見盤

◆APZ-R130Sf

¥113,000 (税別)

サイズ : (鏡筒部) 長さ 575mm、外径 160mm

(三脚) 長さ 570⇔1296mm、高さ(地上高)526⇔1159mm、縮長 598.4mm

設置半径 350⇔710 mm

重さ : 12.1kg

付属品 : カラー星空ガイドブック、星座早見盤

<発売日一覧>

発売日	製品名	本体価格(税別)
3月26日	AP 赤緯体ユニット	¥15,000
	AP ウエイト軸(飾り環付)	¥5,000
	プレートホルダーベース	¥3,500
	スライド雲台プレート	¥8,000
	AP 筒受ユニット	¥3,500
	AP クランプ筒受ユニット H	¥11,000
	AP 極軸ホルダー	¥9,000
	AP ポータブルセット	¥30,000
今春発売	AP 三脚ベース	¥10,000
	APZ マウント	¥65,000
	APZ-A80Mf	¥108,000
	APZ-R130Sf	¥113,000
	AP フォトガイダー用ウエイト軸	¥4,200
	AZ カウンターウエイト	¥4,000
	モジュールベース	¥5,000

## <WEB サイト>

“AP”シリーズ製品トップページ

[http://vixen.co.jp/product/at/ap/index\\_top.htm](http://vixen.co.jp/product/at/ap/index_top.htm)

ビクセン WEB ページ

<http://www.vixen.co.jp>

## <株式会社ビクセン 会社概要>

代表取締役 新妻和重

創業 1949 年 本社 埼玉県所沢市

天体望遠鏡、双眼鏡、顕微鏡、フィールドスコープ、ルーペなどの設計、製造を行う光学機器メーカー

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ビクセン

企画部 都築（つづき）・古賀（こが）・岩城（いわしろ）・藤田（ふじた）

TEL 04-2944-4000 FAX 04-2944-4045

Email [tsuzuki@vixen.co.jp](mailto:tsuzuki@vixen.co.jp)・[koga@vixen.co.jp](mailto:koga@vixen.co.jp)・[iwashiro@vixen.co.jp](mailto:iwashiro@vixen.co.jp)・[fujita.a@vixen.co.jp](mailto:fujita.a@vixen.co.jp)